

阿賀野市学校教育研究会・理科部

研究テーマ 子どもが実感できる教材の研究

1 はじめに

今年度より、新学習指導要領が本格実施され、これまで以上に「実感を伴った理解」「問題解決の能力の育成」等、重要視されている。今年度の理科部では、新単元や新しい教材についての理解を深めることで、改善のポイントに迫れることを考え研修を実施した。

2 研究の概要

4月21日(木) 組織の構成・役割分担、事業計画の作成

6月8日(水) 5年「流れる水のはたらき」指導のポイント研修・観察

12月2日(金) 新学習指導要領改訂のポイントとその趣旨を生かした理科授業の研修

3 研究の実際

(1) 5年「流れる水のはたらき」指導のポイント研修・観察

- ① 講師 三市北蒲原郡地区理科センター 星野 勝紀 協力員
- ② 観察場所 阿賀野市山崎「岩瀬の清水」及び阿賀野市笹神地区内の河川
- ③ 参加者 理科部員13名(部員15名)
- ④ 研修内容



- ・指導のポイントを資料をもとに研修する。その後、「岩瀬の清水」において、“浸食”“運搬”“体積”を実感できるモデル実験を行う。
- ・また、実際に笹神地区内の河川(2カ所)に出かけ、観察のポイント等、研修する。

(2) 6年「電気の利用」教材研究

- ① 講師 三市北蒲原郡地区理科センター 星野 勝紀 協力員
- ② 研修場所 阿賀野市立笹岡小学校・理科室
- ③ 参加者 理科部員10名(部員15名)
- ④ 研修内容



- ・始めに、文科省から配付されている「放射線について考えよう」をもとに、放射能・放射線について研修する。
- ・その後、工作用モーターを使って、LEDライトを光らせ、風力と発電量の関係を実感しやすい風力発電機を作成する。

4 おわりに

新学習指導要領の改善ポイントに重点を置いた研修はとても有意義なものとなった。研修会には、三市北蒲原郡地区理科センターの先生から講師としてご指導いただいた。毎回、ポイントを絞った分かりやすい資料や教材を用意していただいたおかげで、今後の授業にすぐに生かせる充実した研修を行うことができた。